

HOT TOPICS

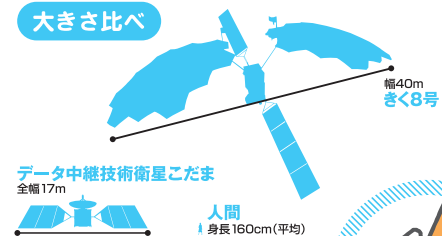
01 宇宙の日筑波宇宙センター 特別公開レポート!

2006年10月21日(土)、筑波宇宙センター特別公開の日。「きく8号」のシンボルキャラクター「きくはちぞう」もこの日がお披露目。はちぞうも朝からドキドキです…。応援に駆けつけた土井宇宙飛行士との撮影会では、皆さんに写真を撮ってもらうなど大人気! 「どうしてきくはちぞうなの?」という質問には、「技術試験衛星は代々きく〇号という愛称がついていて、その8番目なのできく8号。この愛称にちなんで、きくはちぞうなんですよ」と答えると、「なるほど〜」とうなずかれる方が多かったです。わたしたち宇宙利用推進本部は、宇宙での人工衛星の活躍ぶりや、今後打ち上げられる衛星をわかりやすく紹介しました。「だいちの講演会や観測画像展」、「GPSを使った宝探しゲーム!」などのコーナーは、多くの皆さんの参加で大盛況でした。



土井宇宙飛行士と記念撮影

大きさ比べ



02 きく8号 打ち上げ情報

「きく8号」は、まもなく種子島宇宙センターからH-IIAロケット11号機「H-IIA204」型で打ち上げられます。今回は大きな「きく8号」を遠くまで打ち上げるため、H-IIAロケットの固体ロケットブースタを従来の2本か

これが今回はいじめて4本になる固体ロケットブースタだ!

ら4本に増やしました。初めて打ち上げるこのタイプ、今までで1番力強いH-IIAロケットなんですよ。

「きく8号」の打ち上げ最新情報はこちら!

http://www.jaxa.jp/countdown/f11/index_j.html



名前の由来

「きくはちぞう」という名前は、「きく8号」という愛称からつけられました。「きく」が名字で、「はちぞう」が名前です。8番目なので「はち」を使っています(昆虫の蜂ではありません…)

命名 きくはちぞう

03 「だいち」に写ろう キャンペーン

「だいち」は、世界中の詳しい地図づくりや陸地の観測、そして災害が起きたときにはその地域の情報をいち早く知らせしてくれる地球観測衛星。「だいち」に写ろうキャンペーンは、高度約700kmの宇宙を飛んでいる「だいち」から、地上に描いた文字を撮影してみようという体験参加型のプロジェクトです。全国の小中高等学校等からいただいた85件の応募の中から、抽選で選ばれた10団体が参加しました。曇って撮影できなかったチームもあるけれど、こんな写真が撮れました!



▲薩摩川内市立陽成(ようぜい)小学校の皆さん

文字「Yo」▲

「だいち」に写ろうキャンペーン

<http://www.eorc.jaxa.jp/>

KO+NE÷TA コネタ

技術試験衛星はなぜ「きく」なの?

きく8号は「技術試験衛星VIII型」という名前で開発された、8番目の技術試験衛星です。1つめの技術試験衛星が打ち上がったのは1975年9月9日でした。9月9日が「菊の節句」の日だったので、記念に「きく」という愛称をつけました。その後、「宇宙に花が開いてほしい」という願いを込めて、「ひまわり」、「あやめ」、「ゆり」など、花の名前がついた人工衛星がたくさん登場しましたが、最近では花の名前だけではなく、「みどり」や「だいち」のように、人工衛星の特長を活かした愛称を皆さんから公募するなどしています。

これまで打ち上げた技術試験衛星(きくシリーズ)

http://www.jaxa.jp/countdown/f11/past/index_j.html

04 「だいち」観測データの一般提供開始!

2006年10月24日、陸域観測技術衛星「だいち」は打ち上げ後のテストを終えて、本格的に活動を開始しました。それと同時に、「だいち」の画像は特別な研究者だけではなく一般の方でも、26,250円(税込み)から購入できるようになりました。(海外の衛星画像価格と比べると格安です!) ぜひ、ご活用ください!

くわしくは

http://www.jaxa.jp/press/2006/10/20061023_alos_j.html